

○徳島県規制改革会議（床桜メモ 2019.03.26）

1. 第1次提言から第3次提言までの主要提言事項の確認

①交流人口増加に資する規制改革

- ・ “シームレス民泊・分散型民泊” など新たな仕組みづくり / ・ イベント開催時の飲食提供や道路使用の見直し

②人的資源&既存ストック活用に資する規制改革

- ・ 公務員の “社会貢献型副業” 促進や教育現場での外部人材の活用拡大 / ・ 農地付空き家の活用のための基準見直し

③セーフティネットの強化に資する規制改革

- ・ 中小零細事業者の食品栄養成分表示義務化への対応 / ・ 子ども食堂の普及促進

④実質的障壁の解消に資する規制改革

- ・ 行政手続きの簡素化 / ・ AI活用による利便性の向上

2. 第4次提言に向けて

①基本的な考え方

- ・ 県民の声に耳を傾け、社会課題解決に資する法令等の規制改革や実質的障壁の見直しに関する提言を行う。
- ・ 持続可能な社会実現のための世界共通の目標・SDGsとの関連性を保ちつつメリハリの効いた検討を行う。
- ・ 必要に応じ参考人を招聘し、スピード感を持って取りまとめ、2019年秋を目途に知事に提言する。

②具体的な論点の例

- ・ 条件不利地域での “卒車” 後の移動のためのマイカー運送、自動運転など新交通システムの構築 (優先課題①・④)
- ・ がん患者就労支援のためのテレワーク活用など新たな働き方を可能とする就業システムの構築 (優先課題①・②)
- ・ 地域おこし協力隊制度を補完し、移住促進と地域企業の人材確保に資する新たな仕組みづくり (優先課題③・④)
- ・ 地域コンソーシアムによるIoT/AIの実証・実装のための “県版サンドボックス制度” の創設 (優先課題③・④)
- ・ 成人年齢引下げを見据え、10代若者の審議会等への登用による新たな政策形成と地域愛の醸成 (優先課題①・③)

<p>①あらゆる人々の活躍の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革の着実な実施 ・ 女性の活躍推進 ・ ダイバーシティ・パリアフリーの推進 ・ 子供の貧困対策 ・ 次世代の教育振興 ・ 次世代のSDGs推進プラットフォーム ・ ビジネスと人権に関する個別行動計画 ・ 消費者等に関する対応 ・ 若者・子供、女性に対する国際協力 ・ 人道支援の推進 	<p>②健康・長寿の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データヘルス改革の推進 ・ 国内の健康経営の推進 ・ 医療拠点の輸出 ・ 感染症対策等保健医療の研究開発 ・ ユニバーサルヘルス・カバレッジ推進のための国際協力 ・ アジア・アフリカにおける取組 	<p>③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤となる技術・データ、人材育成 ・ 未来志向の社会づくり (「Connected Industries」・「i-Construction」推進等) ・ STI for SDGsや、途上国のSTI・産業化に関する国際協力 ・ 地方創生や未来志向の社会づくりを支える基盤・技術・制度等 ・ 地方におけるSDGsの推進 ・ 農山漁村の活性化、地方等の人材育成 ・ 農林水産業・食品産業のイノベーションやスマート農林水産業の推進、成長産業化等 	<p>④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能で強靱なまちづくり (「コンパクトネットワーク」推進) ・ 戦略的な社会資本の整備 ・ 文化資源の保護・活用と国際協力 ・ 防災 (「レジリエント防災・減災」の構築や、災害リスクガバナンスの強化) ・ エネルギー・インフラの強靱化、食料供給の安定化等 ・ 質の高いインフラの推進 ・ 環境インフラの国際展開 	<p>⑤省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徹底した省エネの推進 ・ 再エネの導入促進 ・ エネルギー科学技術に関する研究開発の推進 ・ 気候変動対策や、CCSの調査・研究 ・ 循環型社会の構築 (東京オリンピック・パラリンピックに向けた持続可能性等) ・ 国際展開・国際協力 ・ 食品廃棄物の削減や活用 ・ 農業における環境保護 ・ 持続可能な消費の推進 	<p>⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な農林水産業の推進や林業の成長産業化 ・ 世界の持続可能な森林経営の推進 ・ 地域循環共生圏の構築 ・ 森林の国際協力 ・ 大気、化学物質規制対策 ・ 海洋 (海洋・水産資源の持続的利用、国際的な資源管理、水産業・漁村の多面的機能の維持・促進) ・ 海洋ゴミ対策の推進 ・ 地球観測衛星を活用した課題解決 	<p>⑦平和と安全・安心社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの安全 (性被害、虐待、事故、人権問題等への対応) ・ 女性に対する暴力根絶 ・ 再犯防止対策・法務の充実 ・ 公益通報者保護制度の整備・運用 ・ 「法の支配」の促進に関する国際協力 ・ 平和のための能力構築 ・ 中東と平和への貢献 ・ マネー・ローンダリング、テロ資金供与等対策
<p>⑧SDGs実施推進の体制と手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリング (国連におけるSDG指標の測定協力、統計に関する二国間交流・技術支援等) ・ 広報・啓発の推進 (「ジャパンSDGsアワード」の実施等) ・ 2025年万博開催を通じたSDGsの推進 ・ 地方自治体や地方の企業の強みを活かした国際協力の推進 ・ 市民社会等との連携 (ジャパンプラットフォーム、活動環境整備、事業補助金等) ・ 適切なグローバル・サプライチェーン構築 ・ SDGs経営イニシアティブや、ESG投資の推進 ・ 国内資金動員のための途上国における規制・税務執行支援 ・ 途上国のSDGs達成に貢献する企業の支援 ・ フューチャー・アース構想下での研究開発、国連大学 等 3 						